

2 学年

① 薬学部で行われる研究とは？ 薬学部で学ぶことはどんなこと？

医学分野と協力しながら人々の回復を手助けする「薬」の可能性を追究する学問
基礎薬学 化学物質の分析と新薬の開発を目指す
医療薬学・臨床薬学 薬の作用、副作用について、薬を正しく、安全に使う方法

② 薬学部や薬学について疑問に思っていることなど、なんでも

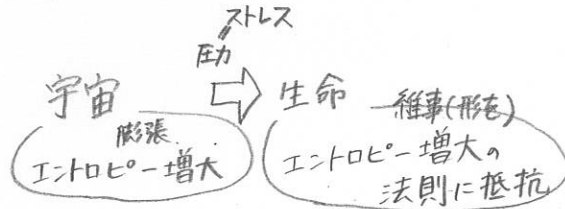
薬剤師以外の職業 副作用を最小限にするためには、薬の主成分
チーム医療のどの立場にいるのか
今後の薬学の課題 漢方薬と薬のちがい サプリメントについて (良くないイメージがあるが実際?)

③ 講義ノート

新しい薬をつくる → 病気の原因を理解し、薬で治療できる標的を発見する。

生命が維持される仕組みを理解

生命と非生命の違いは？



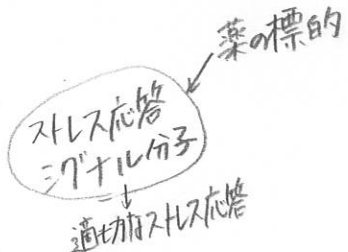
ストレスとは？

生きる ⇒ ストレスに適応すること

↓ 生命外からのストレス

- メンタルストレス - 自律神経のバランスの乱れ (精神的・心理的)
- 生物学的ストレス - ウイルス等
- 物理的ストレス - 紫外線
- 化学的ストレス - 毒物
- 生体内因ストレス

ストレス - 生命の恒常性を乱す全ての内外環境変化



* ① と ②については講義の前には記入しておくようにしましょう。

講義ノート 受容体 森先生(京都大)

温度 カプサイシン: 熱受容体に作用 (トウガラシに含まれている)

メントール: 冷受容体に作用

ミトコンドリア 中心的な役割

トリはからくない。補乳類からい... 種のこせない(消化&移動) (消化↓&移動↑)

浸透圧 - 受容体?] あるけど...
重力 - 受容体?

③ 小胞体ストレス
老化ストレス (活性酸素)
好気性生物が生命活動をするときに生じる (ミトコンドリアから)

活動しない → 長生きする) する
ホリ → 長生きに 人顔つきも変化が

人間 → 多様性すぎる
→ せんさい → ストレス

活性酸素 = ストレス

ストレス

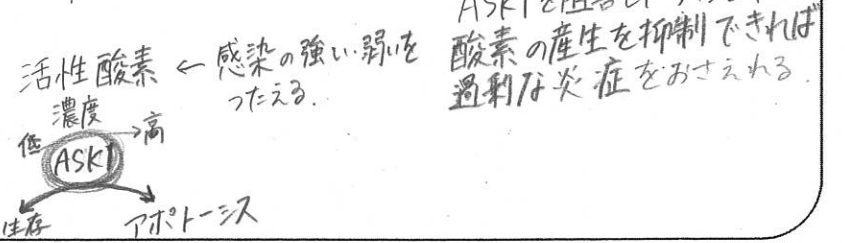
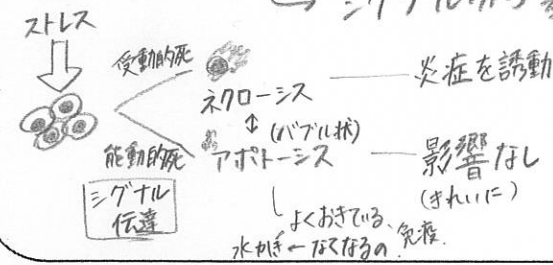
シグナル伝達 (リレ-) → 破端 → 疾患
= 情報伝達

シグナル分子 → おかしくなる → がん

99.9% の傷ついた遺伝子 (DNA) は元にもどる

元にもどれない → 自発的な細胞死 (アポトーシス) ストレス応答のひとつ

シグナル分子暴走 → がん



④ 感想、上記の質問・疑問への答え

体の外からのストレスは知っていたけれど、体の内側からもストレスがかかっていることを初めて知り興味深かったです。「生きるとはストレスに適応すること」は個人的には新しい視点だったのでおもしろかったです。新しい薬をつくるのにまず病気の原因を理解するのが最初で、ものすごい努力で1つの薬ができていくと改めて感じ、私も将来、己の努力で多くの人を救える人になりたいと思いました。

* このノートは次週の水曜日までに 本田 へ提出してください。後日、講義を担当された先生に提出いたします。